

福島市の認定中心市街地活性化基本計画について

福島市都市政策部都市計画課

1. はじめに

福島市は、福島県中通り地方の北部に位置し、西は吾妻連峰、東は阿武隈高地に囲まれた福島盆地の中心に開けており、市域を南北に阿武隈川が流れ、中央に位置する信夫山を取り巻くように市街地が広がった自然豊かな街です。また、春先に吾妻連峰の吾妻小富士に現れる「雪うさぎ」が市民に親しまれ、福島の桃源郷と呼ばれる「花見山」は全国的にも有名です。

明治40年の市制施行から市町村合併による市域が形成され、現在は人口約29万4千人、面積767.7 km²を有しています。また、福島県の県都として、県北地方の周辺市町村との一体的な広域都市づくりを進め、その都心中枢ゾーンに位置づけられています。



吾妻小富士の「雪うさぎ」

花見山

2. 基本計画の策定

本市では、平成10年に旧法に基づく「福島市中心市街地活性化基本計画」～新しい風ふくしま計画～を策定し、2回の変更を経て、市街地整備改善・商業の活性化・その他一体的に推進する事業（96事業）の実施により、中心市街地再生に向けて取組んできました。

各種事業の実施により、公共・文教施設や借上市営住宅等の整備が進められ、都市機能の向上が図られてきましたが、近年の社会・経済状況の変化や郊外型大型店の出店、中心市街地内の百貨店の撤退等により、歩行者通行量、小売業年間販売額等が減少している状

況です。

このような状況の中、「まちづくり三法」の改正に伴い、改めて中心市街地の活性化を目指し、平成19年10月19日に福島商工会議所及び㈱福島まちづくりセンターが中心となり「福島市中心市街地活性化協議会」が設立され、活性化について意見交換等を行い「福島市中心市街地活性化基本計画」を策定しました。

3. 計画期間及び区域

計画期間

平成22年3月～平成27年3月（5年1ヶ月）

区域

JR福島駅東側の商業地域を中心とし、公共施設・公園等を含めた280haとしています。

4. 基本方針と目標指標

基本方針については、旧基本計画によるこれまでの取組みに対する評価及び検証を行うとともに、各方面の団体や事業者・居住者からの意見、市民アンケートを参考とし設定しました。

基本方針1 集客拠点づくりと回遊環境の向上

- ①拠点施設の整備 ②魅力の向上
- ③回遊環境の向上 ④イベントの連携・情報発信



目標1 賑わいの創出

目標指標 ●歩行者・自転車通行量(休・平日平均)

【現況値】H21 33,276人/日

【目標値】H26 36,100人/日

基本方針2 人が暮らし交流できる生活環境の向上

①居住の推進 ②居住環境の整備 ③交流環境の整備



目標2 快適居住の促進

目標指標 ●居住人口

【現況値】H21 15,417人

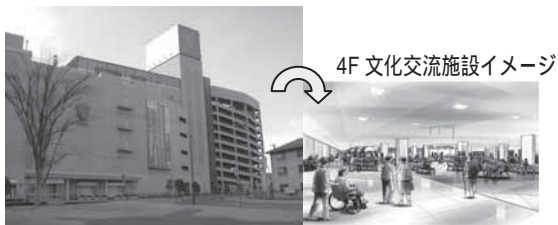
【目標値】H26 15,550人

5. 中心市街地活性化のための主な事業

基本計画には、24のハード事業と36のソフト事業を計画し、相互に連携を図りながら中心市街地の活性化に取り組んで参ります。

曽根田ショッピングセンター整備事業

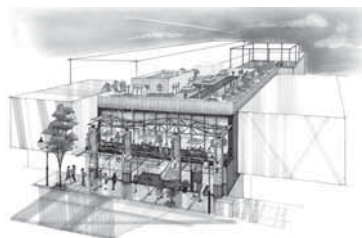
福島駅北側に位置する百貨店が撤退した空きビル（1F～4F）を民間事業者と行政が連携し、中心市街地に不足している生活関連の商業施設や主にシニア世代を対象とした文化交流施設を整備。



曽根田ショッピングセンター

仲見世整備事業

福島市中心街のパセオ通りに面し、昭和40年代から老舗夜型飲食街として一時代を築いた「仲見世」の閉鎖を受け、昼型飲食店や物販・交流スペースを中心としたテナントミックス施設として整備。



イメージパース

仲間町地区交流施設整備事業

公共・文化施設との連続性を考慮したパブリックミニパークや市民ギャラリー、カフェスペースなどの交流施設を整備。



イメージパース

早稲町地区医療等複合施設整備事業

医療・福祉・子育て機能等の充実と共に賃貸住宅による居住空間の確保を図り、地域の居住環境の向上と賑わいを創出。



イメージパース

まちなか回遊性向上事業

市内循環100円バスのルートの再検討やレンタサイクルの貸出所の増設等、移動環境を整備し回遊性を向上。



レンタサイクル貸出所



まちなか循環バス

6. おわりに

平成22年3月に内閣総理大臣より認定を受け、約半年が経過しますが、民間主導により整備される商業施設は今年度内のオープンが予定されており、中心市街地の魅力の向上による来街者の増加が期待されています。また、今後進められる予定である都市福祉施設や居住施設の整備により生活環境の向上が見込まれており、これら事業の早期実施に向け、行政・民間が連携した取組みが必要となります。さらに、各施設を回遊できる交通環境の整備や新規創業者支援を含めた空き店舗対策、テナントミックス等のソフト事業を併せて推進するとともに、新たな事業の掘起こしも行いながら中心市街地の活性化を目指して参りたいと考えております。